



愛川ふれあいの村 今月の風景

2023年11月 自然のたより

朝晩の冷え込みも厳しくなってきました。4年ぶりに開催された「紅葉まつり」では、見事に黄葉したメタセコイア、イチョウ並木、紅いモミジが来場者を歓迎しているかのようでした。

寒くなると生き物は少なくなりますが、そんな中、今年はカメムシが大量発生中！とかく嫌われがちなカメムシですが、ハートを背負ったエサキモンキツノカメムシなど、変わり種も見られました。（袖山）



小三国語のモチモチノキの黄葉



ヒメヤママユ



アオジ



キイロスズメバチの巣



エサキモンキツノカメムシ



ワカバグモ



ウラギンシジミ雌



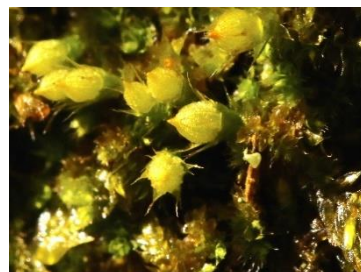
ニシキギの紅葉



スギタケモドキ



ナラタケ



樹幹着生ヒナノハイゴケ



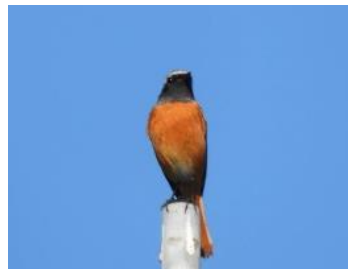
モッコクの実を食べるメジロ



キセキレイ



冬鳥のジョウビタキ雌



ジョウビタキ雄

トピック ★変わった秋の味覚★

みなさんは秋の味覚と言われたら何を思い浮かべますか？私はサンマを思い浮かべます。残念ながらふれあいの村にはサンマはいないので、ちょっと変わった秋の味覚を紹介します。

ふれあいの村には大きなオニグルミの木が炊事場の横にあります。今の時期は葉が落ち始めてきており、春にむけて新芽や花芽を出して繁殖活動の準備をします。そのためには大量のエネルギーが必要となります。つまりこれからのオニグルミは繁殖のために樹液がパンパンになるという事です。この樹液が秋の味覚なわけです。木に小さい穴をあけるとそこから水のような樹液がしみだしてきます。1回自分で溜めて飲んでみたことがあるのですが、少し甘い水のような味でした。この樹液を煮詰めることによって、甘みがでてとてもおいしいシロップになります。木から取れるシロップは他にもあり、有名な物だとカエデの仲間から出る樹液を煮詰めて作る「メープルシロップ」がありますね。まだ自分で作ったことが無いので時間があったら、作ってみたいものです。ちなみに現在は樹液は出ておらず、樹液が出てくるのはあと2、3か月先かと思われます。

栗や柿、サンマなど有名なもの以外にも隠れた秋の味覚がたくさんあります。また違った視点で、植物や生き物などを見てみると、新たな一面が発見できるかもしれません。（小熊）



オニグルミの葉痕

生き物 ★生きた化石★

「生きた化石」と聞くとシーラカンスやカブトガニなど、中々見ることでできない生き物を思い浮かべますが、実は意外と身近にもいます。なんと村にも。それは、ちょうど今の時期、黄色く紅葉した姿が綺麗な「イチョウ」です。なんと約6000万年もの間、姿を変えていないといわれています。おかげでおいしい銀杏を食べることができます。そしてなんと村ではもう1種類生きた化石を見ることができます。それは「メタセコイア」です。こちらは今、黄金色に色づいて村を着飾ってくれています。身近な生き物たちも、調べてみると新たな発見があるかもしれませんね。（川原）



←イチョウ

メタセコイア→



旬 ★柑橘類がおいしい季節★

村の果樹園に、色づいた果実が。写真の実は、八朔（はっさく）です。色づいているとは言え、まだ時期ではなさそうです。はっさくが最もおいしく食べられる時期は、2～3月頃と言われています。収穫は12月頃から2月中旬頃。もうすぐ収穫の時期ですね。すでに森の生き物たちが食べているので、私も食べるのが楽しみです。

みかんはもう時期になっていますが、みなさんはみかんをどのように食べますか？皮のむき方、白いすじを取るか取らないかなど、食べ方は人それぞれですよ。白いすじには、食物繊維やビタミンPが多く含まれており、毛細血管を強化し、コレステロール値を改善するなどの効果があるとされています。寒い時期は、おいしいものをたくさん食べたくてしまうので、私は白いすじまで食べようと思います。（三好）



来月の見どころ
生き物たちの冬越し
今年の季節は、新聞に春夏秋冬と書かれていたが、夏の暑さが気候観測史上最高値を記録し大変な暑さだった。そんな中で、昆虫たちは、キチョウやツチイナゴのように成虫越冬できるものは少なく卵や蛹、幼虫で冬を越す。植物の場合、種子や実は、哺乳類や鳥類にとって命を繋ぐ大切な食料となっている。ギンナン、サンショウ、又ルデ、ハゼの実らは好んで食べられる。センリョウ、マンリョウ、ヤブコウジなどは小鳥たちの好物である。
林縁を歩くと赤い実があつて、緑色の葉に紛れたメジロたちが小さな実をひとつひとつくわえて飛び去った。冬に実るフユイチゴの味を愛おしむように美味しそうに食べていた。また別の崩壊地では又ルデの木にたくさんの実がなり、冬鳥のシヨウビタキが旅の疲れを癒すように一つくわえて食べていた。
人間の活動によって地球の温暖化がどんどん進んでいっている。戦争や争いとを止め、自然に親しみ人類の平和について考える時だと思う。（吉田）